7.4. ifconfig で設定する -ifconfig コマンド-

では、実際にネットワークの設定を行なってみましょう。(/sbin)ifconfig コマンドは、ネットワークインターフェースカード(NIC)に IP アドレス等を設定するためのコマンドです。IP アドレスを設定するには管理者権限が必要ですが、現在の設定を参照するだけならば、一般ユーザでも行うことができます。設定を参照する際の ifconfig コマンドの書式は以下のようになります。

/sbin/ifconfig [インターフェース]

それでは、実際にコマンドを実行してみましょう。

\$ ifconfig

eth0 Link encap:Ethernet HWaddr 00:27:0E:07:E1:EB

UP BROADCAST MULTICAST MTU:1500 Metric:1

RX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0

TX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0

collisions:0 txqueuelen:1000

RX bytes:0 (0.0 b) TX bytes:0 (0.0 b)

Interrupt:30 Base address:0xa000

eth1 Link encap:Ethernet HWaddr 00:0E:0C:A1:D3:0D

inet addr:192.168.1.81 Bcast:192.168.1.255

Mask: 255.255.25.0

inet6 addr: fe80::20e:cff:fea1:d30d/64 Scope:Link

UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1

RX packets:94704 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0 TX packets:63726 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0

collisions:0 txqueuelen:1000

RX bytes:94262078 (89.8 MiB) TX bytes:5849475 (5.5 MiB)

lo Link encap:Local Loopback

inet addr:127.0.0.1 Mask:255.0.0.0

inet6 addr: ::1/128 Scope:Host

UP LOOPBACK RUNNING MTU:16436 Metric:1

RX packets:10 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0 TX packets:10 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0

collisions:0 txqueuelen:0

RX bytes:584 (584.0 b) TX bytes:584 (584.0 b)

ネットワークインターフェースはここで3つ存在します。

- ・eth~ イーサネットカード、検出した順にoから番号がついていきます。
- ・1o ローカルループバック、内部用で必ず存在しています。(仮想のインターフェース) インターフェースに IP アドレスを設定する際の ifconfig コマンドの書式は以下のよ うになります。

/sbin/ifconfig [インターフェース] [IP アドレス] netmask [ネットマスク] ¥ broadcast [ブロードキャストアドレス]

例えば、インターフェース eth0 に IP アドレス 192.168.1.173、ネットマスク 255.255.255.0 を割り当てたい場合には、以下のようにします。なお、ブロードキャストアドレスは「ホスト部が全て 1」のアドレスですから、今回の例では、192.168.1.255 となります。

- # /sbin/ifconfig eth1 192.168.1.173 ¥
- > netmask 255.255.255.0 ¥
- > broadcast 192.168.1.255

なお、上の例中の、"¥" は長いコマンドを改行して入力したい時に用いるものです。したがって、"¥" を使用せずに一行でコマンドを入力しても結果は同じです。どちらでも好きな方で入力して下さい。